

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について

協議趣旨

竹岡地区及び峰上地区で実施している交通空白地有償運送は、国の令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業の計画認定を受けていることから、同事業実施要領等に基づき、自己評価（一次評価）を行い、令和 7 年 1 月末日までに国へ提出する必要があるため、本案について富津市地域公共交通会議の事業評価として提出する。

【参考】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 抜粋

（協議会）

第 3 条

- 5 協議会は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

地域公共交通確保維持改善事業実施要領 抜粋

8. 事業評価について

（1）事業評価の実施

①自己評価（一次評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあつては、補助金の交付を受けようとする会計年度の 1 月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあつては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の 1 月末までにそれぞれ協議会から、地方運輸局、神戸運輸監理部、地方航空局又は沖縄総合事務局（以下「地方運輸局等」という。）に報告するとともに、公表することとする。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月23日

協議会名： 富津市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フリーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
NPO法人わだち	竹岡地区交通空白地有償運送	昨年度の達成状況を継続でき るよう、安定的な運行を行っ た。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	A 計画に位置付けられた目標 を達成することができた。 (利用者数の目標値900人 に対し実績1,042人となり、1 運行あたりの利用者数は 372人であった。また、昨年 度と比べ利用者数、1運行 あたりの利用者数、共に増 えていることから、A評価と した。)	今後も利用者動向に注視しつ つ、事業者とともに必要な見直 しを検討する。 また、地域の医療・商業施設と 連携し、より利便性の高い運行 方法を検討する。
NPO法人峰上交通	峰上地区交通空白地有償運送	今回が計画認定初年度のた め、なし。	A 事業が計画に位置付けられ たとおり、適切に実施され た。	A 計画に位置付けられた目標 を達成することができた。 (利用者数の目標値350人 に対し実績540人となってい ることから、A評価とした。)	今後も利用者動向に注視しつ つ、事業者とともに必要な見直 しを検討する。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月23日

協議会名：	富津市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーターシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	富津市においては、市外へ通じる幹線交通である鉄道や地域間幹線を運行する路線バスを軸に、市域内に広範に廃止代替バスにより構成される公共交通機関網が広がっている。 これらの公共交通については、商業施設や医療機関が集中している富津市北部や市から北に位置する木更津市の総合病院及び君津市の大規模な商店等が市民の日常生活機能を担う中で、幹線交通が君津市等に向かう唯一の手段として、車を運転できない高齢者等を中心に、生活に必要不可欠な交通として機能している。また、この幹線交通に通じる廃止代替バスが支線の役割を果たしている。 しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、当市の公共交通機関の利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が生じている。、一部地域では、幹線交通と廃止代替バスの乗り継ぎ時間の確保が不十分な交通結節点があり、また、幹線道路から離れている集落については、そもそも交通手段が確保されていないなど、住民に不便を強いている状況にある。 このため、地域公共交通確保維持改善事業により、既存の交通機関で移動手段の確保が困難な地域について、竹岡地区及び峰上地区の交通空白地有償運送により移動手段を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

地域の公共交通等の現況・課題

富津市の公共交通は、JR内房線（6駅）、東京湾フェリー、高速バス（5路線）、路線バス（7路線）及び5事業者によるタクシー運行がある。鉄道駅やバス路線沿線に人口の分布がみられるものの、地域に広く居住地が分散し、人口減少及び少子高齢化が進んでおり、また、市全体として、自家用車に対する依存度が非常に高く、78.1%が自動車所有している（R4.8月実施、市民アンケート）ことから、各交通機関の利用者は全体として減少傾向にあり、公共交通サービスの維持確保が年々難しくなっている。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

- ・交通計画の基本的な方針：市内各地域の特性や実情に即した住民や来訪者の「お出かけ」を支援できるシステム構築を目指す
- ・定性的な目標：公共交通を必要とする人のニーズにあった交通網の形成

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

「公共交通に関する基本的な方針」において掲げた方針及び目標の実現に向けて、各交通機関の利用促進や、地域にあった移動手段の導入など全16事業を実施している。

主な実施事業としては、平成31年4月から、市内竹岡地区において、NPO法人の運営による交通空白地有償運送事業「**ぷちバスわだち（定時定路線型）**」を開始した。今年度においては、**3**年前に実施したダイヤ改正後、順調に利用者数を伸ばしており、その結果、利用者数は目標としていた**900人**を超えることができた（**令和6年度利用者数1,042人、1運行あたり3.72人**）。

また、**令和6年4月**からは、峰上地区にて当市における二つ目の交通空白地有償運送となる「**峰タク（デマンドタクシー）**」が本格運行を開始し、地区内住民の移動手段として活躍しており、**利用者数は目標値としていた350人を超えることができた。（令和6年度利用者数540人）**

その他、令和元年7月から、運転免許証を保有していない高齢者等や運転が一時的に困難となる妊産婦に対し、タクシー運賃の一部を助成する「富津市タクシー運賃助成事業」を実施している。

アピールポイント

竹岡地区及び**峰上地区**交通空白地有償運送を行っているNPO法人は、運営スタッフの大部分が地域住民であり、地区住民の移動ニーズを含めた生活実態といった情報について把握しやすい。

主な移動ニーズとなりうる通院需要に応えるため、運行エリア内にある医療機関の診療日に合わせ、火、金の週2回の運行日を設定している。

半島振興法



面積	205.40km ²
人口（R6.4.1時点）	40,844人
15歳未満	3,221人
65歳以上	16,260人
高齢化率	39.8%

交通計画の計画期間

令和5年4月～令和9年3月

協議会開催状況

（令和6事業年度に係るもの）

第1回（令和6年6月）

- ・富津市地域公共交通計画に係る2023年度実施事業の評価及び2024年度事業計画（案）について

- ・富津市地域公共交通計画認定申請書（案）について

- ・峰上地区交通空白地有償運送の更新登録（案）について

第2回（令和7年1月）

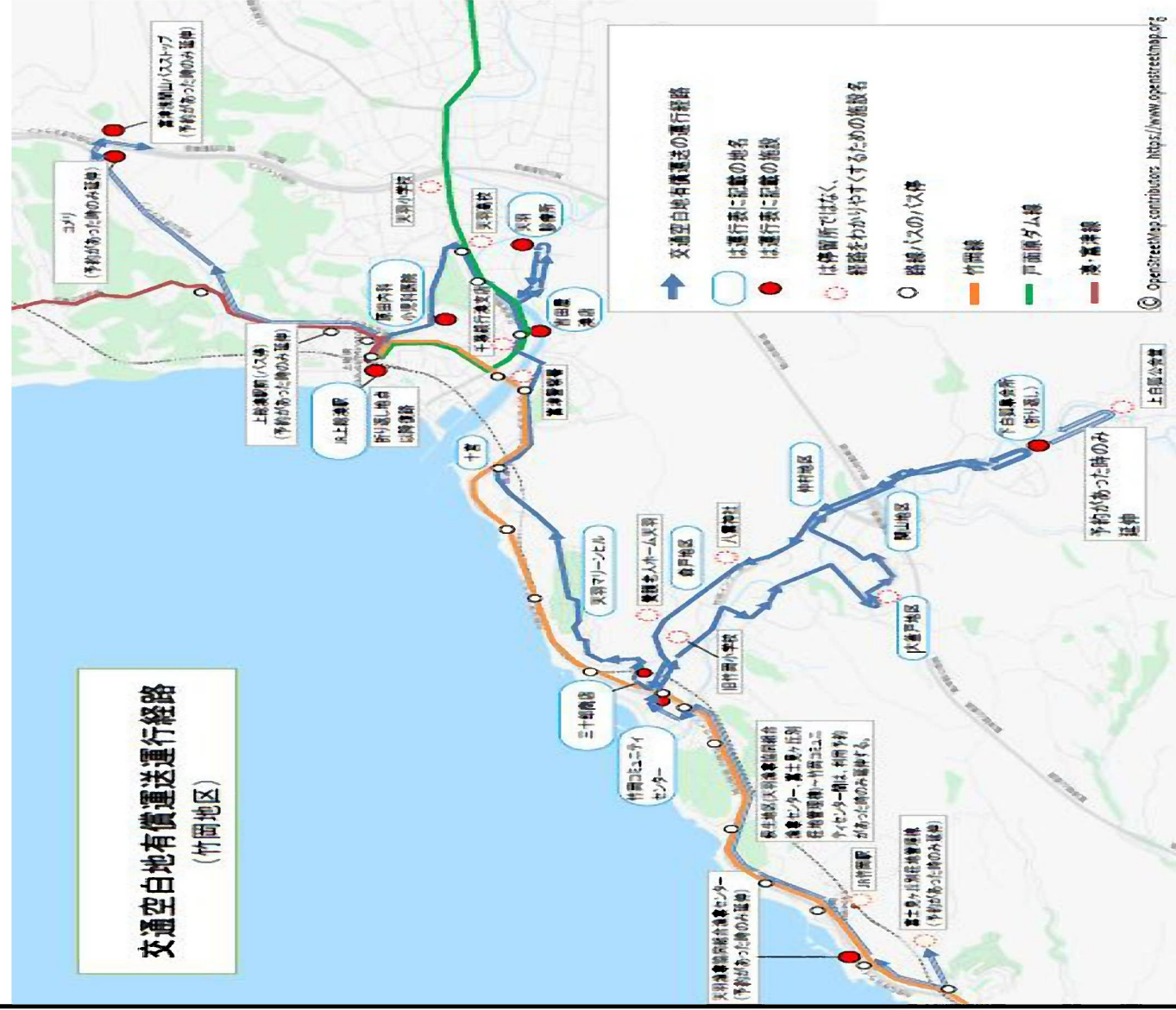
- ・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（案）について

- ・竹岡地区交通空白地有償運送の更新登録（案）について

マップには、路線バスの乗り方、主要施設等の最寄バス停や所要時間、公共交通を利用したモデルルート、各交通機関の連絡先並びに運行経路及び各路線バスの乗り場等を掲載

This is a detailed map of Kanagawa Prefecture, Japan. The map is oriented with North at the top. It shows the extensive Kanagawa Expressway network in red and orange. Major cities are labeled in large Japanese characters: 横浜 (Yokohama) in the northwest, 相模 (Sagami) in the center, and 前橋 (Maebashi) in the southeast. The map is densely packed with smaller labels for towns, villages, and specific landmarks. Numerous inset boxes are scattered across the map, each containing text in Japanese, likely providing details about local events, transportation routes, or points of interest. A compass rose is located in the bottom right corner, indicating North (N).

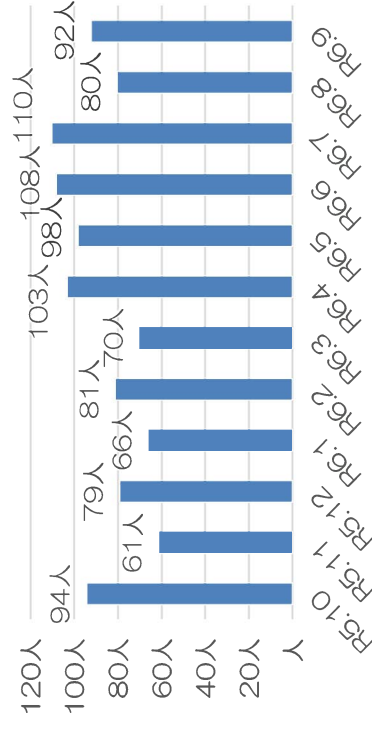
補助対象事業の運行系統図及び実績データ



令和6年度 (R5.10~R6.9) 利用実績

月	計画運行日数	計画運行日数	RO運行日数	RO運行日数	利用人数	1運行あたりの 利用人数
R5.10	9	315	10	26	94	362
R5.11	7	245	9	20.5	61	298
R5.12	8	28	11	27	79	293
R6.1	8	28	10	24.5	66	269
R6.2	7	245	9	21	81	386
R6.3	9	315	10	25.5	70	275
R6.4	9	315	10	26.5	103	389
R6.5	8	28	9	23	98	426
R6.6	8	28	10	23	108	470
R6.7	9	315	11	25	110	440
R6.8	8	28	8	19.5	80	410
R6.9	8	28	10	22.5	92	409
計	98	343	117	250	1042	372
平均						45

月別利用者数推移

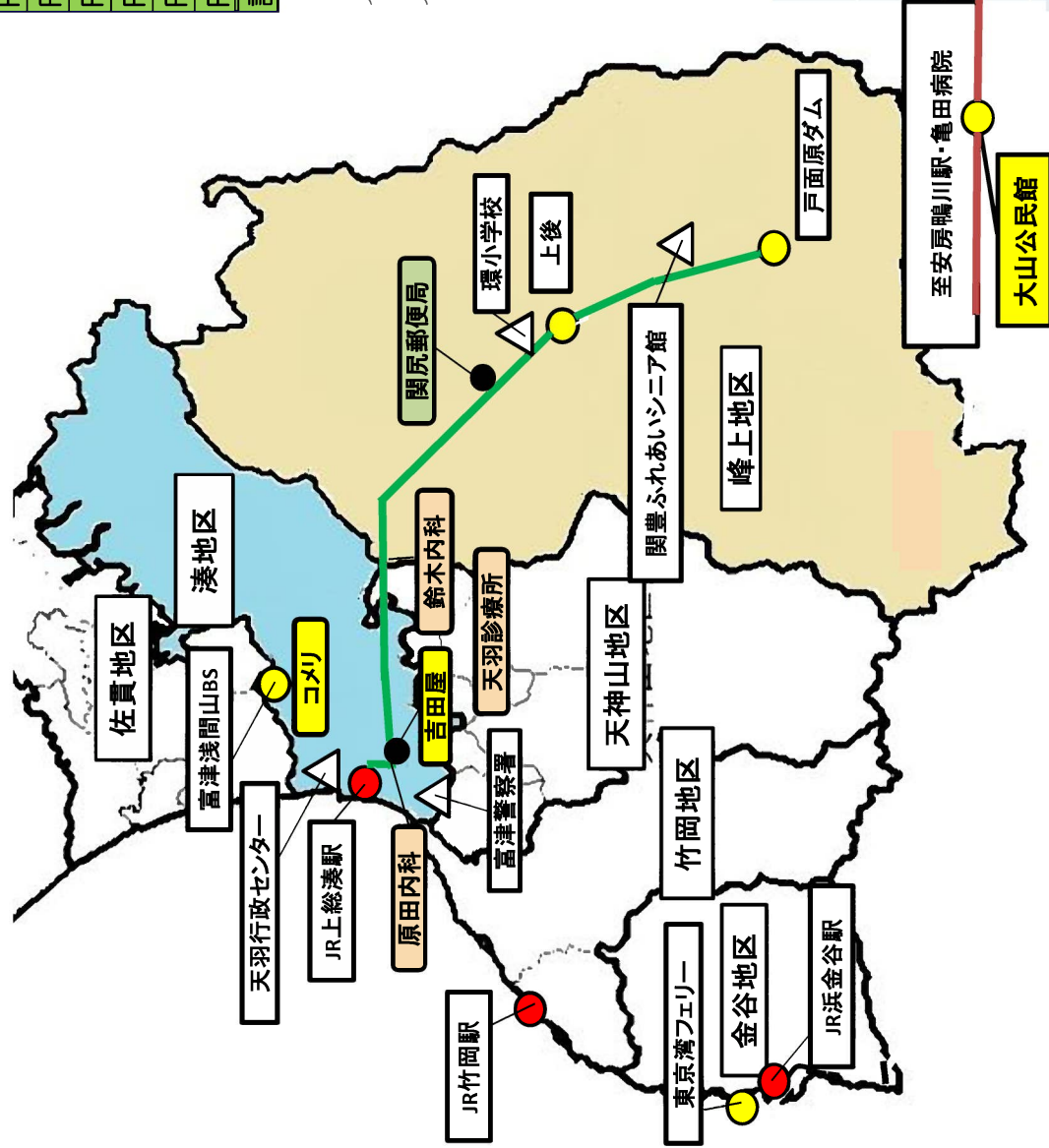


經常收支(R5.10~R6.9)

經常收益	380千円
經常費用	3,556千円
經常損益	▲3,176千円
經常収支率	10.69%

補助対象事業の運行系統図及び実績データ

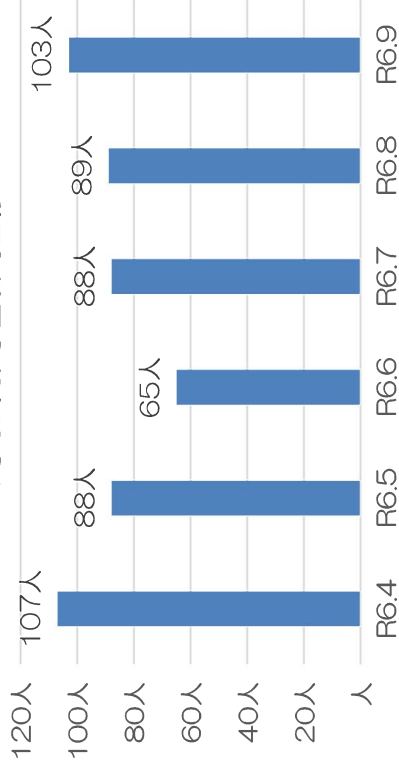
交通空白地有償運送運行区域(峰上地区)



令和6年度 利用実績 (R6.4~R6.9)

月	計画運行日数	運行日数	延利用者数	運行回数 (片道1カウント)
R6.4	9	10	107	64
R6.5	8	8	88	61
R6.6	8	8	65	54
R6.7	9	9	88	70
R6.8	8	8	89	62
R6.9	8	9	103	67
計	50	52	540	378

月別利用者数推移



経常収支(R6.4~R6.9)

経常収益	486千円
経常費用	2,898千円
経常損益	▲2,412千円
経常収支率	16.77%